

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	清須市地域包括支援センター運営協議会
開催日時	平成24年6月21日（木） 午後1時30分～午後2時25分
開催場所	清須市清洲庁舎2階202会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつ（健康福祉部長・社会福祉協議会事務局長）</li> <li>2 委嘱状伝達</li> <li>3 委員紹介</li> <li>4 清須市地域包括支援センター運営協議会設置要綱について</li> <li>5 会長・副会長選出について</li> <li>6 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>①清須市地域包括支援センターについて</li> <li>②平成23年度事業報告</li> <li>③平成24年度事業計画</li> <li>④介護予防プラン委託先について</li> <li>⑤その他</li> </ol> </li> </ol>
会議資料	<p>清須市地域包括支援センター運営協議会設置要綱  清須市地域包括支援センター運営協議会委員名簿  清須市地域包括支援センターについて  平成23年度事業報告  清須市地域包括支援センター資金収支決算書  家族介護者交流事業資金収支決算書  平成24年度清須市地域包括支援センター事業計画  清須市地域包括支援センター資金収支予算書  家族介護者交流事業資金収支予算書  介護予防支援業務の一部を委託する指定居宅介護支援事業所一覧</p>
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数（公開した場合）	1人
出席委員	小川委員、村瀬委員、渡邊委員、森委員、山田委員、山本委員、筒井委員、恒川委員、普山田委員、山口委員、丹羽委員
欠席委員	0人
出席者（市）	

事務局	大鐘健康福祉部長、福田高齢福祉課長、加藤、山田、寺社下、高木 浅野事務局長、柴垣
<p>会議の経過</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康福祉部長あいさつ 社会福祉協議会事務局長あいさつ</li> <li>2 委嘱状伝達</li> <li>3 委員紹介</li> <li>4 会長・副会長の選出 村瀬会長・小川副会長挨拶</li> <li>5 署名委員選任 (渡邊委員・山田委員)</li> </ol> <p>3 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 清須市地域包括支援センターについて (13:37~13:39) 寺社下介護予防係長より業務説明</li> <li>(2) 平成23年度事業報告について(収支決算、任意事業含む) (13:39~13:52) 地域包括支援センター柴垣管理者より説明</li> <li>(3) 平成24年度事業計画について(収支予算、任意事業含む) (13:52~14:05)</li> <li>(4) 介護予防プラン委託先について (14:05~14:08)</li> </ol> <p>質疑(14:08~14:25)</p> <p>○副会長 地域包括支援センターの事業や名称について知名度が低いと聞いている。知名度はどのくらいか。</p> <p>○事務局 平成23年度については、要介護認定者を除いた方を対象に日常生活圏域ニーズ調査と二次予防事業対象者把握事業を実施した中で「名前だけは知っている」が36.7%、「知らない」が52.6%だった。平成24年度は65~74歳を対象にした二次予防事業対象者把握事業のアンケートの中での知名度は40.2%で昨年度より約3.5%上がっている。4地区別でも結果が出ており、高い順から春日地区45.3%、清洲地区41.6%、新川地区40.5%、西枇杷地区35.6%となっている。男女別では女性の方が包括の認知度が高くなっている。</p> <p>○副会長 地域包括支援センターを知らないという事は健康でいい事という捉え方もできるが、高齢者が増えていく中で、困った時にどうして行くのかを心配している。昨年包括支援センターの職員が11人いたが病気休暇、出産等があり、人員配置を含め、介護予防ケアプラン、総合相談事業等のあたらしい体制づくりをという反省を踏まえ、体制が整ってきている。今年度は、地域へ出て行く出前講座が6月までで11件と増えている。委員の皆様も近隣の町内であったらご参加いただきたい。今後1年間で70近い地域に出かけ相談窓口の紹介をするので、更に相談が増えるため職員の負担が増すことが予想される。</p> <p>予算の中での受託金について、平成24年度は前年度に比べ600万円減額にな</p>	

っている。今後業務を充実していくところで減額になりどうなるのか不安がある。

- 事務局 予算の金額について 24 年度は 23 年度に比べて 600 万円の減額になっている。市の財政状況が厳しいということもあるが、22 年度・23 年度については地域包括支援センターからの余剰金があり市に返還してもらっている。そのため当初予算が減額となっている。
- 副会長 よくわかりました。平成 23 年度の実績報告資料 4、2 地域支援事業（1）総合相談支援業務の 10「成年後見・権利擁護」が件数 60 件で今後増えていくことが予想される。今後、社会福祉協議会か市が相談等を行うことになるが、尾張東部の日進市・豊明市・瀬戸市等では、各市が分担をしてセンターを作りそこで相談を受けているということを知った。今後増加が予想されるこの事について、清須市として隣の北名古屋市と手を組み何か考えているのか、現在進行中なのか聞かせて欲しい。
- 事務局 現在は権利擁護に関しては、「日常生活自立支援事業」をこの管内は北名古屋市の社会福祉協議会が行っている。日常生活自立支援事業と成年後見に関しては司法書士も関わりがあるため、個別には相談をしている。色々な面で司法書士と相談をしているところだがまだ形にはなっていない。広域的なことにもなるので、今後は司法書士等と具体的な話になっていくと思われる。
- 委員 現在日常生活自立支援事業を利用されている方は何人くらいあるのか。
- 事務局 高齢者と障害者も含めて 15 人位の契約がある。

署名委員

署名 渡邊 淳子

署名 山田 圭子

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 高齢福祉課 052-400-2911 内線4331